

この課題に対応するため、令和4年度から町内での就職を奨励する新たな支援策として、U・Iターン就職奨励金事業を展開し、担い手対策に取り組んでおり、町内企業の活性化と雇用の創出に資する施策についても検討を進めてまいります。

(6) 再生可能エネルギーを活用した産業の振興

地球温暖化が起因となっている気候変動問題解決のため、世界的に脱炭素化の動きが加速しており、八雲町においても昨年3月に「ゼロカーボンシティ八雲」を宣言し、町全体として2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととしております。

このゼロカーボン実現のためには、行政・町民・事業者の連携した取り組みが重要であることから、令和4年度に「八雲町カーボンニュートラル推進協議会」を設立したほか、町広報紙やホームページといった媒体により、脱炭素に関する意識の醸成に向けた内容の普及啓発・情報発信を

図つてまいりました。

こうした取り組みに加え令和5年度は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画である「八雲町温暖化対策実行計画(区域施策編)」の策定を行い、行政・町民・事業者が取り組む明確な指標を定めることで、2050年ゼロカーボン達成を目指してまいります。

また、再生可能エネルギーの導入は、地域の自然エネルギー資源を有効に活用することにより、有効な地域振興策となることが期待されます。

八雲町は、さまざまな自然エネルギー資源に恵まれた土地柄であり、これまで蓄電池併用型としては国内最大の太陽光発電所や、酪農のまち八雲町の特徴であるバイオガス発電が稼働しているほか、令和4年度には、熊石平田内川において小水力発電施設の整備工事が着工し、令和6年6月の稼働が予定されております。

持続可能なまちづくりのため、民間活力の活用や連携による再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、地域

新電力による自立分散型エネルギーシステムの構築によるエネルギーとキャッシュの域内循環を目指してまいります。

なお、檜山沿岸における洋上風力発電事業については、利害関係者との調整が進められているなど、将来的に有望な区域になり得る一定の準備段階に進んでいる区域に整理されていることから、引き続き、檜山各町および関係機関と連携し推進してまいります。

3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進

(1) 健康づくりの促進

すべての町民が、健康でいきいきとした生活を継続できるように、病気の早期発見・早期治療を目的に特定健診や各種がん検診の受診勧奨を行うとともに、複数の健診が同時に受診できるなど、受診希望者の利便性の向上に努め、受診率の向上を図ってまいります。

また、町民が自分の健康に

関心を持ち、生活習慣の改善や病気の予防に取り組めるよう、健康づくり教室等を開催し、健康意識の高揚と知識の普及啓発に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスなど社会活動に大きな影響を及ぼす感染症については、感染症対策やまん延を予防するため、さまざまな機会を通じて知識の普及啓発を行うとともに、ワクチン接種の勧奨に努めてまいります。

(2) 医療体制の充実

八雲総合病院では、新型コロナウイルス感染症の治療拠点として役割を果たすとともに、感染症治療と並行して、通常の医療提供体制を維持、確保してまいります。

医師確保では、特に内科・循環器内科常勤医師の確保に苦慮しており、加えて耳鼻咽喉科医師が非常勤化となるなど、非常に厳しい経営環境となっております。引き続き、医師確保を最優先課題として対応してまいります。

今後とも地域センター病院として、町民の皆さまをはじめ

め、地域の皆さまに安心して受診していただける病院づくりを、院長とともに私が先頭に立ち、職員一丸となって進めてまいります。

熊石国保病院は、住民が住み慣れた地域でいつでも安心して受診できる「かかりつけ病院」としての役割を果たすとともに、高齢化が進む地域住民のニーズに対応した良質な医療サービスの提供に努めてまいります。

病院建替えについては、令和5年度は実施設計に着手し、引き続き建替事業を進めてまいります。

(3) 地域福祉の促進

人口の減少とともに少子高齢化が進行する中、住み慣れた地域で誰もが安心して健康やかに暮らしていくためには、地域住民の方々がお互いを思いやり支え合っていくことが今後益々重要となります。そのため各町内会や、民生委員協議会等関係団体と連携を図りながら、地域の絆を深めるための声掛けや見守り活動等が推進されるよう支援してまいります。